

平成 29 年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修【学習プログラム研修】（第 2 回）受講者振り返りアンケート集計

<質問内容> 研修全体：今回の研修で学んだことは、明日からの仕事に役立つものになりましたか。

ア－1：講義・演習「学習プログラム開発の実際Ⅱ」

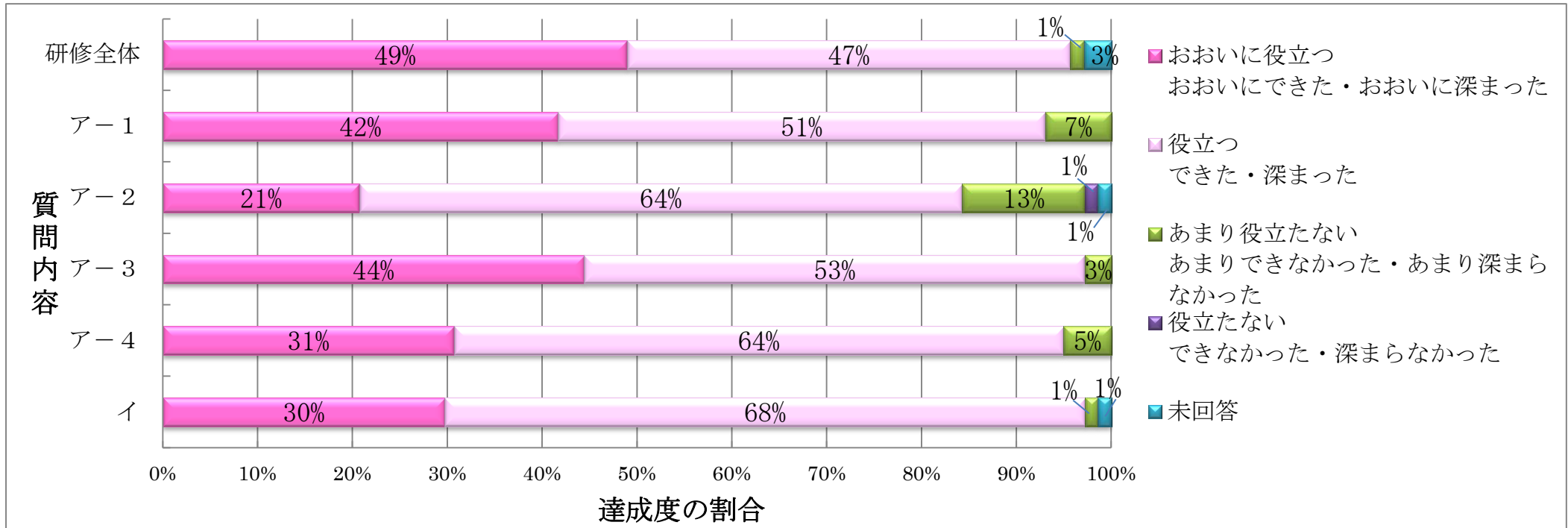
グループ演習の中で、自分の考えを発言したり、グループメンバーの意見を聞いて考えたりすることができましたか。

ア－2：学習プログラム開発のポイントを押さえて、実際にプログラムをリデザイン（改善）することができましたか。

ア－3：学習プログラムにおける事業評価の大切さについて理解することができましたか。

ア－4：学習プログラム開発の評価の手法についての理解が深まりましたか。

イ：講義「学習プログラムについて」学習プログラム全体について、理解することができましたか。

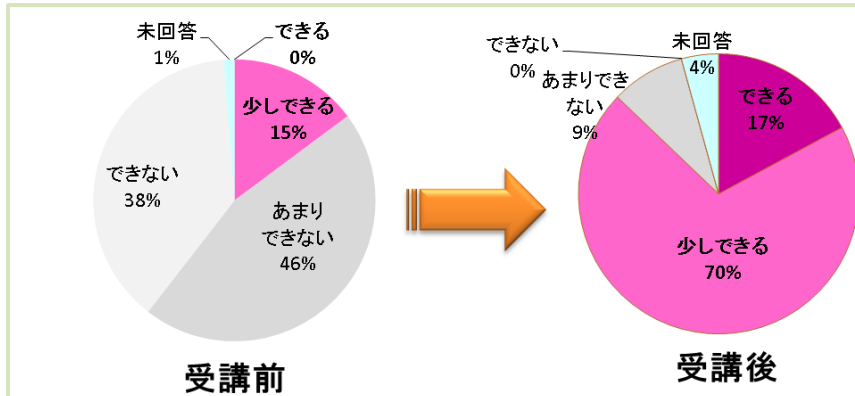


<「今回の研修を通しての感想・意見」などの記述から>

- グループ演習を通して、一人では気が付かなかったことでも他の人の意見を参考に新たに気が付いたりすることができて、考えを深めることができました。
- 事前課題をもとに第1回を振り返ることができました。また、リデザイン（改善）のポイントが確認できたので今後の業務に生かしたいです。
- アンケートの項目や評価の手法について、具体的にわかり、色々と試してみたいと思います。
- PDCAサイクルの大切さについて改めて理解することができました。特に、次へつなげるための活動にしていくために成果を見える化したり、C→Aの活動が学習プログラムの改善、充実感になっていくと実感しました。
- 学習プログラム立案においては自分のこれまでの経験値によって立てることが多かったが、今回の研修を通して意識を変えながら鮮度を持ち、新しい価値観を入れていくことが大切であることが分かりました。そのことで魅力あるプログラムになると感じました。

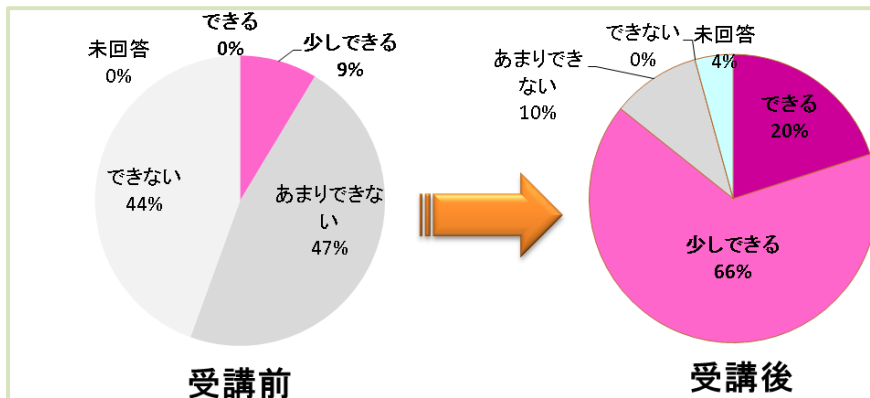
<研修受講前（事前アンケート）と受講後の状況>

①「個人の要望」と「社会の要請」のバランスがとれた学習プログラムを企画・立案することができる。



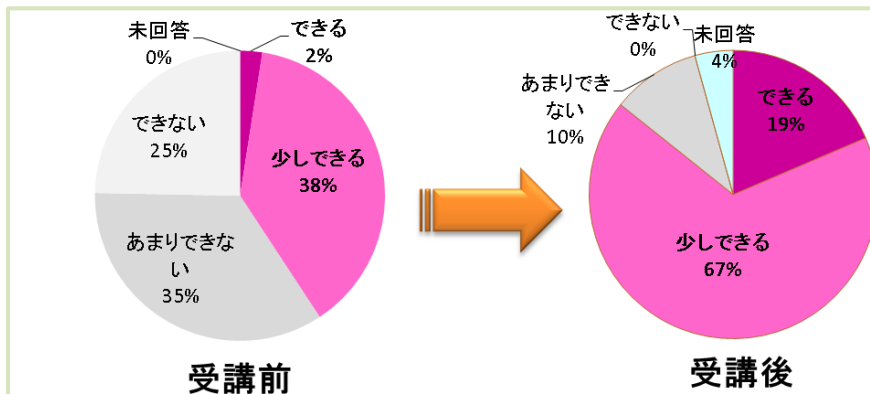
- 日常業務でプログラム内容やテーマばかりに意識をおいていたが、課題や目標の設定、評価などの重要性を改めて認識することができました。
- 企画する自信ができました。
- 現場で実践し、向上が図られるようにしていきたいです。
- カルチャーセンターとの違いを考えることで、公民館等で講座を行うことの意味を考えることができました。

②学習プログラムを評価することができる。



- 今まで知らなかった評価方法を知りました。次からの事業で取り入れてみたいと思いました。
- 評価を見越した目標設定にしていくことの大切さを学びました。
- アンケート以外での色々な方法があることを知ることができました。
- グループワークすることにより理解できました。また、様々な意見が聞けてとても参考になりました。

③他者や他機関と連携・協働しながら、業務を推進していくことができる。



- 今回の研修で相談しながら業務を行う“良さ”が分かりました。
- 他の方の意見を聞くことでより良いものになると実感しました。
- ニーズを調査し、必要に応じた課や部門や講師に協力要請し、充実した講座を計画したいと思いました。
- 地域のための講座であり、自分一人で全てを行うのではなく周りの方に協力してもらうことで、より意味のあるプログラムを作っていくことが大事だと思いました。